

かがやけ あさひ

校長室だより 9月



8月4日に平和登校日を行いました。昨年度から実施している平和学習を兼ねた登校日でした。はやり、今こそ8月6日の広島原爆投下、8月9日長崎原爆投下のことも風化させないためにも、平和を今一度考えるためにも大切な学習となります。最初、全校児童が体育館に集まり、今日は平和登校日であること、そして戦争のことを考える一日にすることを話しました。

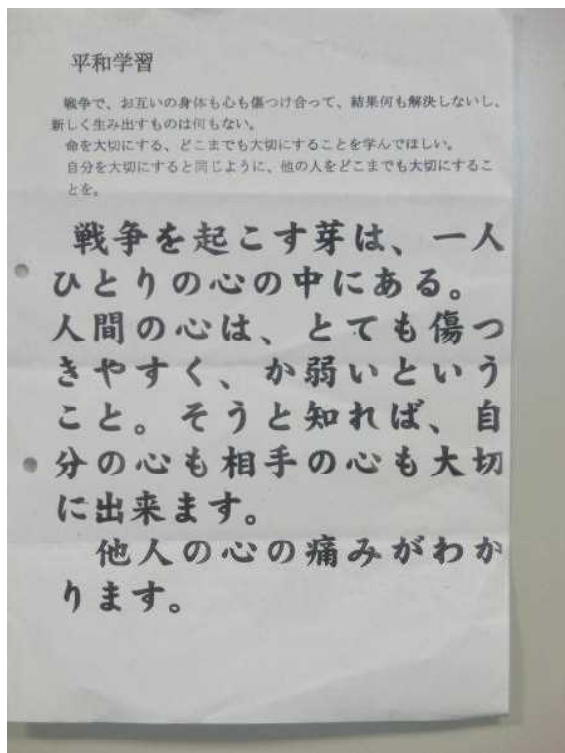
馬戸先生による絵本の読み聞かせをしてもらいながら、平和に関するいくつかの本の紹介を行いました。

その後、私の方から、戦争でお互いの身体も心も傷つけあっても、結果何も解決はしないし、新しく生み出せるものも何もないこと。

命を大切にすること、どこまでも大切にすることを学んでほしい。自分を大切にすると同じように、他の人をどこまでも大切にしたいと話しました。

さらに戦争を引き起こす心の芽は誰しもがもっていること、家庭の兄弟姉妹で、またクラスの友達との関係の中で、相手を傷つけてしまう言葉や行動をしてしまうこと、自分

さえよければそれでいいというような身勝手な言動、つい意地悪をし



平和学習

戦争で、お互いの身体も心も傷つけ合って、結果何も解決しないし、新しく生み出すものは何もない。
命を大切にすること、どこまでも大切にすることを学んでほしい。
自分を大切にすると同じように、他の人をどこまでも大切にすること。

戦争を起こす芽は、一人ひとりの心の中にある。
人間の心は、とても傷つきやすく、か弱いということ。そうと知れば、自分の心も相手の心も大切に出来ます。

他人の心の痛みがわかります。



てしまう何気ない言動が、実はその戦争を引き起こす芽、根っこなのである。だからこそ、今、発している言葉や行動をふと立ち止まってみるのが大事なのです。シンプルに言えば、自分が言ってもらってうれしい、励みになる言葉を相手に話していくこと、自分がしてもらってうれしい行動を相手にしてあげることが大事なのです。



最初に書いたように、戦争を起こす芽は、一人ひとりの心の中にある。人間の心はとても傷つきやすく、か弱いということ。そうと知れば自分の心も相手の心も大切に出来ます。他人の心の痛みがわかります。



その後、各学年、各クラスに分かれて、平和学習に取り組みました。低学年では、児童集会の話を取り返し、8月6日に広島で何があったのかについて話し、1年生は、絵本『へいわってすてきだね』2年生は、『へいわってどんなこと』の読み聞かせをし、3年生は『えんぴつびな』をテレビで鑑賞、4年生は、DVD『僕はまだ死にません』を見ながら。子どもたちは真剣なまなざしで話に聞き入ってくれました。



高学年は、戦争や原子爆弾の怖さや残酷さを知るとともに、今の平和について考えました。原爆が落とされる前後の写真を見ることにより、その残酷さや悲惨さがより鮮明に理解できたようです。自分たちが今できることを考えながら、歴史の学習にもつなげてほしいと思います。